



スポーツのまち・利府町 『競輪』選手が活躍中！

荻原さん、橋本さん、大泉さんは、『スポーツのまち・利府町』で、プロの『競輪』選手として活躍中。『中学時代、将来はプロスポーツ選手になりたい』と思っ、プロになれる可能性の高い競輪選手を目指した」と荻原さん。『何歳か

らでも本気で頑張れば選手になれ、選手生命が長いのも魅力』と話す橋本さんは、24歳で社会人から転向。大泉さんは「力士から競輪選手になった方のTV番組を見て、自分もやってみよう」と20歳で競輪をスタート。『日本競輪選手養成所』で約1年間の訓練を受け、『競輪選手資格試験』の難関を突破。A級3班からスタートし、レースの着順を



十符人

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

一般社団法人 日本競輪選手会宮城支部所属 プロ競輪選手

おざらは 荻原 尚人さん 橋本 智昭さん 大泉 英則さん
(左から)

荻原尚人：1983年生まれ、仙台市出身。中学は野球部、高校で自転車部に所属。2001年18歳でプロテスト※1に合格。20歳でデビュー。現在S級1班※2。GIレース※3に6回出場。
橋本智昭：1982年生まれ。しらかし台中学校卒業。2006年24歳で会社員から競輪選手に転向、28歳でデビュー。現在A級1班。中学時代は野球部。
大泉英則：1981年生まれ、仙台市出身。高校卒業後、2001年20歳で競輪をスタート。23歳でデビューし、現在A級3班の選手として活躍。(敬称略)



- ※1：競輪選手資格検定。競輪選手になるための国家資格。
- ※2：競輪選手の階級。S級S班を頂点にS級1班、S級2班、A級1班、2班、3班の6階級がピラミッド型を形成。半年間のレース結果で翌々期の級別が決まり、収入も異なる。
- ※3：S級上位者で選考基準を満たした選手が出場できるレース。オールスター、日本選手権など年6回開催。F2はA級選手のみ、F1はS級とA級1班、2班、GIII、GII、GI、GP(KEIRINGランプリ)はS級選手のみが出場できる。
- ※4：宮城県自転車競技場

競う実力勝負の世界。『結果が明快で、自分がどう頑張ったのかわかる』と、結果がわかりやすい。栄養学や睡眠が重要。トレーニングは欠かせないが自分の時間も作れる」と荻原さん。橋本さんは「結果に自分で責任を持つやりのある」、大泉さんは「自転車レースで収入が得られる事が喜び」と話します。『利府町は自然豊かで暮らしやすく、大和町の練習場も近く便利ですが、町内に小さい子や小中学生が気軽に運動できる施設や、地形を生かしたサイクリングコースなどもあるといいですね』とお三方。最後に「最高時速70kmにもなるスピード感はもちろん、勝負を左右する選手同士の駆け引きも醍醐味であるレースはほぼ毎日、ネットでライブ中継をしているので、ぜひ一度覗いてみてください。いい！』とお話いただきました。

Good Movement 活動日記 Vol.10

地域おこし協力隊

総務省地域おこし協力隊制度を活用し、利府町の活性化と社会起業家の育成を目指すプロジェクト



公式LINE

思い描く未来像への壮大な挑戦 | ブランディングプロジェクト

ブランディングプロジェクトは、利府町の魅力を明確にし発信することを目指しながら、実はとても壮大な挑戦をし続けています。ブランディングプロジェクトとは何か、ブランディングチームのこれまでの軌跡、そしてこれからの壮大な挑戦に迫っていきます。ブランディングプロジェクトが描く利府町の未来像とは？



利府の想いを届けて
その想いは広がれ、そして未来を切り拓け。

続きはこちら▶



メンバーの協力隊に入ったきっかけと今、そして未来について綴っています。

東京から東北へ。東北の食・生産者の想いを伝えたい、応援したい。

佐々木 彩乃 | 東京都出身。農業支援プロジェクト | 好奇心旺盛な性格で、東北の食を愛し生産者の「推し活」に人生を捧げている。気付いたら利府町に移住していたという彼女。そのきっかけとは？



続きはこちら



飲食店が胸を張って提供出来るワインを。宮城の食材とのマリアージュ。

出戸 茂 | 北海道生まれ仙台市出身。農業支援プロジェクト | 約20年国分町のBARでお酒を提供する中、自身でお酒を作りたいという想いが込み上げる。ワインを通じた賑わい創出とは？



続きはこちら

編集後記

今月号の表紙は、高田式体育教室の様子です。11月10日(日)当日は「利府スポーツDAY」として体育教室のほか、スポーツ流鏑馬大会、利府ラリー2024も併せて開催され、多くの人で賑わいました。私はスポーツ流鏑馬大会を撮影・取材しましたが、煌びやかな衣装を纏い、馬上からの射を射る姿は圧巻でした。当日の様子は1月号にて特集ページでご紹介いたしますので、ぜひご覧ください。(S)

広報りふWEB版

